

知っておきたい福祉の制度～ひろがる相談ネットワーク～

医療連携・患者支援センター ソーシャルワーカー 鈴木 恵子

病院への通院や入院の際、治療についての相談は医師に聞くことができますが、病気や怪我がもとで家庭での生活に何らかの不安がある時、地域で活用できる相談機関をご存知でしょうか。今回は、「地域包括支援センター」と「中核地域生活支援センター」のふたつのタイプの機関をご案内します。

<地域包括支援センター>

どの市町村にも設置されている身近な高齢者向けの相談場所です

- 介護予防の相談／要介護認定の申請代行をおねがいしたい・介護予防のケアプランを作成してほしい
- 総合相談／近所で一人暮らしの高齢者の様子が心配・地域に密着した介護サービス情報を知りたい
- 高齢者の権利擁護／財産の管理に自信がないとき …などの高齢者に関する相談全般ができます

<中核地域生活支援センター>

千葉県独自の機関で高齢者だけでなく児童や障がい者も対象の相談機関です

- 地域総合コーディネート事業／当事者と公的機関やサービス事業者とのつながりを促進していく事業です
- 福祉の総合相談／複合的な相談に緊急時迅速に対応していくワンストップ相談を目指しています
- 県内14箇所の圏域に設置 …地域毎の情報は医療連携・患者支援センターへお尋ね下さい

どちらも住み慣れた地域でその人が生き生きと自分らしく生活できるよう手助けしてくれる相談機関です。もし何かお困りのことが生じたらお一人で抱え込まずにまずはお気軽にご相談なさってみることをお勧めします。

外来受診のご案内

■受付時間

初診 8:30～11:00 再診 8:30～11:30

※一部診療科では午後の受付となる場合があります

■休診日

日曜日、祝祭日、第3土曜／創立記念日(6月10日)

年末年始(12月29日～1月3日)

■代表電話番号 043-462-8811

予約変更専用 043-462-0489(平日14時～16時)

■健康保険証(原本)、その他の公費負担受給者証(原本)を必ずご持参下さい。

■各科外来担当医はホームページ

<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp> をご覧ください。

編集後記

今年は残暑が厳しく、小学校では運動会のリハーサル中に熱中症になってしまふ子どもたちがニュースになっていました。私が小学生の頃は、運動会といえば10月、体育の日がお決まりだったはずなのに。9月に実施する理由として、中学受験への配慮もあるのだとか。小学生も大変だなーと思いつつ、ニュースで元気に走り回っている子どもたちの映像を見ると、やっぱり子どもは元気だなーと、少しほっとした気分になりました。(寺山)



編集・発行：東邦大学医療センター佐倉病院 広報委員会
〒285-8741 佐倉市下志津564-1 TEL.043-462-8811(代表)
発行日：2011年10月【年4回(1・4・7・10月)発行】
URL : <http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp>

SAKURAdayori



東邦大学医療センター
佐倉病院の基本理念

- 質の高い医療を安全に提供する病院
- 地域に貢献する病院
- 人間愛を共有する病院
- 楽しく明るくチャレンジする病院
- 良き医療人を育成する病院

患者の権利

- 質の高い公正な医療が受けられます
- 個人の尊厳が守られます
- 個人のプライバシーが保障されます
- 必要な医療情報の説明が受けられます
- セカンドオピニオンが保障されています
- 医療行為について自己選択ができます

開院20周年を迎えて

病院長 田上 恵

はじめに東日本大震災でお亡くなりになられた方々と御遺族の方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

3月11日は当院も地震にみまわれました。幸いにも患者さん、教職員に人的被害はなく、建物や医療機器の被害も最小限にとどまりました。しかし、地震の当日、一般外来診療は中止し、救急業務に専念せざるを得ませんでした。翌週より外来の再開を決定した後すぐに、「計画停電」問題が起こり、外来患者さんだけでなく、入院患者さん、検査・手術待ちの患者さん方に多大な御迷惑をおかけいたしました。この間、患者さんからのクレームはありませんでした。特に、入院患者さんには非常食など多くの辛抱をおかけしたにもかかわらず、ご不満はあったでしょうに、文句の一つもおっしゃらず耐えていただいたことに敬服の念を感じ、日本民族のすばらしさに改めて感動いたしました。

東邦大学医療センター佐倉病院は本年9月に、開院20周年を迎えました。

平成3年9月2日に病床数300床、教職員327名(医師61名、看護師146名)でスタートした東邦大学医療センター佐倉病院(平成18年東邦大学医学部付属佐倉病院より改名)は、平成21年5月に151床の増床を行い、平成23年10月1日現在で病床数451床、教職員教職員837名(医師166名、看護師489名)と大きく発展し、20周年を迎えることができました。これは教職員の努力はもちろんのことですが、地域の皆様方の暖かい御支援の賜物と深く感謝しております。

増床に伴い多くの機能が向上しました。最前線地域型病院としての役割に加え、最先端高度医療を導入することが可能になりました。

先端医療を取り入れるために10のセンターを設けました。消化器センターはクロール病をはじめとして難治性腸疾患に先駆的な治療を行っています。

糖尿病内分泌代謝センターも新しく外科と共に肥満治療に取り組んでいます。

循環器センターでは放射線科とのIVRの治療をはじめ、新しく温熱療法がとり入れられます。

難聴・めまい回復センターを設け、内耳手術も始まりました。

泌尿器腹腔鏡センターができ、癌手術・低侵襲手術に取り組んでいます。

整形外科には運動器低侵襲治療センターが新たに設けられ、内視鏡を用いた、各種関節・脊椎の手術が本格化します。

眼科・アイセンターでは角膜移植も行われ、網膜硝子体・水晶体手術を中心に年間2000例の手術を目指しています。

内視鏡センターの流れを組む外科は、内視鏡下手術では県内有数の手術件数を誇っています。

これらの手術を受け入れるために手術室も5室から8室と増室され、安全に行うために常勤の麻酔科専門医が支え、年間6000例の手術件数を目指しています。

佐倉病院は地域になくてはならない病院として皆様方に育てていただきました。最先端高度医療を目指す大学病院として、今後とも皆様と一緒に歩んでいきたいと思います。



市民公開講座を終えて



呼吸器内科 岡田倫明

去る平成23年9月24日、2011年第8回市民公開講座が行われました。テーマは癌撲滅キャンペーンに基づいた肺癌とその治療についてでした。肺癌治療の全体概要について当院呼吸器内科川島助教が、外科的治療については外科の長島准教授が、そして内科的治療と緩和ケアについて、私がお話をさせていただきました。当日は、多くの市民の皆様にお集まりいただき、さまざまなお質問も頂戴しました。肺癌治療に対する市民の皆様のご関心の高さに驚かされる思いでした。

今回、市民公開講座でお話させていただくにあたり、「もし自分が患者だったら、患者の家族だったら、患者の友人であつたら…どういったことに困るだろう、どういった情報を知りたいだろう」ということを考え準備を進めました。

当日は肺癌の内科的治療についてだけでなく、医療費補助の制度や、他の病院や開業医との連携について、不安があれば役に立つであろう事も発表内容に盛り込みました。

また、当院で行っている緩和ケア活動も知って欲しい情報の一つとして、一般的な緩和ケアのあり方と共に発表いたしました。緩和ケアの普及も進んでおり、緩和ケアの専門外来や専門病棟を持つ病院も増えてきております。当院における緩和ケア活動は、まだ規模の小さいものですが、市民の皆様に当院での緩和ケア活動を知っていただくことが、我々緩和ケアチームのより一層の活力につながると考えております。

緩和ケアとは、緩和ケアを必要とする患者及びその家族

の心身の苦痛を予防したり和らげたりするもので、そのため多くの職種が多くの視点で多方面からアプローチしていく治療・ケアのことをさします。余談ですが、私の祖父は大酒飲みでした。祖父は病に倒れ、全身衰弱の結果、食事も水も受け付けなくなりました。もちろん、病院側からも食事摂取はとめられました。そういった亡くなる直前の病床の身であるにも関わらず、祖父は父がこっそり買っていたブランデーケーキだけは毎晩のように口に含んだそうです。医療従事者となった今の私の立場では、父のとった行動を手放して称賛するわけにはいきません。しかし、緩和ケアの考え方として、今の私の礎になっているエピソードです。

今後も緩和ケアを必要とする患者さん・ご家族がよりよいケアを受けられるよう、当院での緩和ケア活動に精進していくつもりです。市民の皆様方からも、ご意見やご要望をいただけすると、ありがとうございます。



2011–2012年 市民公開講座のお知らせ（入場無料・申込不要・200席）

| 開催予定日 | 講演予定テーマ | 担当 |
|---------------------|--|----------------------------|
| 11月26日(土) | 「ものわすれ」（認知症）と共に歩む “診断と治療” | 神経内科、他 |
| 12月24日(土) | <知っておきたい加齢に伴う眼の病気> 老人性黄斑変性症・白内障・緑内障 | 眼科 アイセンター |
| 1月28日(土) (テーマ変更) | <糖尿病> 糖尿病の予防と治療・フットケア 糖尿病性足潰瘍の保存療法と手術 | 糖尿病・内分泌・代謝センター 看護部 形成外科 |
| 2月25日(土) (テーマ変更) | 「めまいを起こさないためには…」 | 耳鼻咽喉科 難聴・めまい回復センター |
| 3月24日(土) | <帯状疱疹> <帯状疱疹後神経痛> | 皮膚科 麻酔科 |

先の案内(Vol.7,7月発行)では2012年1月に『めまい』を、2月に『糖尿病』を予定しておりましたが、上記のように変更させて頂きます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

当院ではほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした市民公開講座を企画しております。多くの方にご参加いただ

き、病気の予防や早期発見、普段の生活に役立つようにと考えています。いずれの講座も14時から当院東棟7階講堂で開催する予定です。詳細はテーマごとに院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

結石破碎装置更新～泌尿器科治療領域の更なる拡大へ～

泌尿器科 矢野仁／鈴木啓悦



結石破碎装置の更新を行ないましたので、装置の特徴や今後の展望などについて紹介致します。

最近の内視鏡治療の発展に伴い、適応は以前より限定されますが、殆どの上部尿路結石が対象となります。新機種は従来に比べ、①低侵襲：破碎性能を向上しながらも患者さんの疼痛・皮下出血の発生などの負担を減らし、②より深く：生活習慣病などに伴って増加した肥満患者さんや深部結石に対する治療確実性が向上し、③正確性：位置ずれの頻度を低減、より正確に結石へ衝撃破を照射することが



「DPC(包括評価)方式」の入院費計算方法とは

医事課 入退院センター

当院はDPC対象病院として厚生労働省より許可を受け、平成22年7月1日以降ご入院された保険診療の患者様は、以前の「出来高払い方式」から「DPC(包括評価)方式」へと入院費計算方法が変わりました。

以前の入院費計算方法だった「出来高払い方式」とは、診療内容(検査・薬・レントゲン等)の費用を合計する制度です。

これに対し「DPC(包括評価)方式」とは、入院される病名の種類や手術・処置等の内容(診断群分類)に応じて定められた1日当たりの定額点数を基本として計算する方法です。ただし手術・リハビリ等の診療料行為については従来どおり「出来高払い方式」となりますので、1日当たりの定額点数と合計して入院費を算出します。

◎よくあるご質問◎

Q1 入院患者全てが対象となりますか？

A1 下記の患者様はDPC(包括評価)方式の対象外となります。

以前の入院費計算方法 「出来高払い方式」

診療行為をひとつひとつ積み上げて合計する方法です。

| 入院基本料 |
|----------------------|
| 検査料（採血・超音波等） |
| 画像診断料（レントゲン・CT・MRI等） |
| 処置料（酸素吸入等） |
| 薬剤料（投薬料・注射料） |

| 手術料・麻酔料等 |
|----------|
| リハビリ料 |
| 放射線治療料 |
| 指導料・食事 |

包括に変更

出来高方式

現在の入院費計算方法 「DPC(包括評価)方式」

1日あたりの定額点数を基本として入院費を計算する方法です。この点数に多くの診療行為の費用が含まれています。

| 入院基本料 |
|----------------------|
| 検査料（採血・超音波等） |
| 画像診断料（レントゲン・CT・MRI等） |
| 処置料（酸素吸入等） |

| 包括されない一部検査・処置料 |
|----------------|
| 退院時投薬料 |
| 手術料・麻酔料等 |
| リハビリ料 |

※上記の図でご説明できない部分もございますのでご容赦ください。